

【1】年【 家庭 】科 年間指導・評価計画

月	単元名・題材名 学習内容	時数
4	<p>ガイダンス</p> <p>○小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見直しをもつ。</p> <p>○各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートによって、これまでの自分をふり返る。 ・自立と共生について考える。 ・教科書の目次・見取り図から中学校での学習内容をイメージする。 <p>B食生活 1. 食事の役割と食習慣</p> <p>①食事の役割</p> <p>○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの興味・関心」で自分の食生活をふり返りながら、食に関する考えを深める。 ・宇宙ステーションでの食事と日常生活の食事とを比べて、グループで話し合う。 <p>②健康によい食習慣</p> <p>○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 <p>2. 中学生に必要な栄養を満たす食事</p> <p>①中学生の発達と必要な栄養</p> <p>○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を見つけ出し、その理由を考える。 	1
		1
		1
5	<p>②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群</p> <p>○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五大栄養素の種類について確認する。 ・食品に含まれる栄養素と、食品成分表の見かたを理解する。 	5
	<p>③栄養バランスを目で見て判断</p>	2

- 中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。
- 1回の食事を目で見えて栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。
 - ・「生活にいかそう」にとりくみ、1回の食事の栄養バランスを判断できる。

7 **3. さまざまな食品とその選択**

食品が食卓にのぼるまで

①生鮮食品の選択と保存

1

- 生鮮食品の特徴がわかる。
- 目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。
 - ・生鮮食品の特徴と表示内容，保存方法を知る。

②加工食品の選択

2

- 加工食品の特徴がわかる。
- 目的に応じて加工食品を選択できる。
 - ・加工食品の特徴と表示内容などを知る。

③食品の安全と情報

1

- 食品を選択するとき，食品の安全や情報に関心をもって選択できる。
 - ・食の安全を保っているしくみを知り，食品の情報を適切に判断して選択できる。
 - ・「生活にいかそう」にとりくみ，自分の考えをまとめる。

9 **4. 日常食の調理**

①調理の計画

3

- 調理の流れと手順がわかり計画を立てることができる。
 - ・調理に必要な手順や時間を考え，調理計画を工夫する。

②おいしさと調理

- おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。
 - ・混合だしをつくるなどの体験を通して，おいしさと調理の関係を理解する。

③ますます好きになる肉の調理

3

- 肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり肉を調理することができる。

10

- ・肉の調理上の性質を知る。
- ・安全と衛生に気をつけて，肉の調理をする。

	④こんなにおいしい魚の調理	3
	○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	
	・魚の調理上の性質を知る。	
	・安全と衛生に気をつけて、魚の調理をする。	
12	⑤好きになる野菜の調理	3
	○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	
	・野菜の調理上の性質を知る。	
	・安全と衛生に気をつけて、野菜の調理をする。	
1	6. 献立づくり	
	1日分の献立	3
	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	
	・自分の「朝食」「昼食」の献立を立て、1日に必要な栄養を満たす「夕食」の献立を考えて、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。	
2	7. 持続可能な食生活	
	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	1
	・食品ロス、食料自給率など食生活のさまざまな問題を把握し、持続可能な食生活を送るためにできることを考える。	
	B住生活 1. 住まいのはたらきとここちよさ	
	①住まいのはたらき	2
	○住まいの基本的な役割について理解する。	
	○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。	
	・住まいの役割や基本的な機能について考え、各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。	
2	②住まいの空間	2
	○住まいの空間の使い方について理解する。	
	○さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。	
	・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	
	B2.安全な住まいで安心な暮らし	

3	<p>①家庭内事故への備え</p> <p>○家庭内の事故の種類と，その原因を知る。</p> <p>○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別による家庭内事故の特徴を知り，安全に住むための対策を考える。 	1
	<p>②災害への備え</p> <p>○地域さまざまな災害に備えて，室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活にいかそう」にとりくみ，自分の考えをまとめる。 	2

評価基準<おおむね満足できる：観点B>（評価

知識・技能【33%】	思考・判断・表現【33%】
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。（ワークシート） ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ☒ ☒ ・健康によい食習慣について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 ・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。

<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について解決策を構想している。
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
<ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
<ul style="list-style-type: none"> ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる 	

・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。

・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。

・1日分の献立を作成する方法について理解している。

・住居の基本的な機能について理解している。

・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。

・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。

・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。

・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。

・住生活について問題を見いだして課題を設定している。

・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。

<ul style="list-style-type: none">・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	<ul style="list-style-type: none">・住生活について問題を見いだして課題を設定している。
<ul style="list-style-type: none">・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	<ul style="list-style-type: none">・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。

面資料)

主体的に学習に取り組む態度【34%】

・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

・よりよい食生活の実現に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている

・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。

・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。

・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。

・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。

家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。